

一般質問通告書

受領日時 令和5年8月28日 午前11時10分

8番 氏名 畑澤洋子

質問項目	質問の要旨
1 希望者に防災行政無線の個別受信機の貸与を	(1) 高齢者の皆様は、登録制メール、Jアラート、エリアメール、ツイッター、フェイスブックなどを活用する人が少なく、防災行政無線が頼みである。しかし本番では聞き取れないと苦情が寄せられた。雨の音に負けているからである。町の防災行政無線がデジタル化しているなら、個別受信機にポケベルの機能を活用した防災ラジオの貸し出しをしてはどうか。
2 道の駅に災害時の防災拠点機能を持たせる	(1) 全国に道の駅が創設され30年。我が町の道の駅「悠紀の国五城目」も出来てから21年。7月災害ではトイレ・休憩所も含む全建物が締め切られ休業中。県内外から沢山のボランティアで訪れた皆様・知り合いの安否を気遣い訪れた方々のトイレ利用はどうしていたか。仮設トイレは何か所に準備されていたか。 備蓄してあるマンホールトイレは利用できたか。 (2) 道の駅に防災拠点としての機能を持たせてはどうか。 たとえば水を蓄える機能やトイレをレジリエンストイレに変えるなどの整備だけでも十分利用価値があるが。
3 湯ノ又橋をどうする	(1) 2年続けて床上床下浸水を経験した湯ノ又町内の被災した皆様は、粛々と住める環境に戻す努力をしている。町は水管を下流に移動しただけで来年の様子を見ようとしているのか。3回目はないと言い切れるか？町内からの要望はまとまらないが、町が率先して被災者の要望を聞き対話をする機会を作って頂けないか。
4 浄水場施設の被害破損を期に更なる安全対策を	(1) この度の水害で重要な施設であることを、町民全員が身に染みて理解できた。浄水場は築何年か。今後の更新時期をいつごろと計画されているか。今後も想定される被害に具体的な対策が必要ではないか。たとえば2か所目の浄水場を作るなど。